

恵庭市スポーツ振興まちづくり審議会(第1回)会議録	
日時	平成28年11月30日(水曜日) 18:30～19:30
委員	6名(欠席2名)
事務局	6名
会場	恵庭市役所 3階 301・302会議室
《会議録》	
会 長	1. 開会 (1) 委嘱状交付 副市長より各委員に委嘱状を交付 (2) 主催者挨拶 副市長より挨拶 (3) 自己紹介 各委員及び事務局 自己紹介
	2. 議事 ・議事に入る前に、恵庭市スポーツまちづくり審議会規則の内容について説明(資料1) ・審議会の開催成立報告
	(1) 役員の選任 会長職、副会長職にそれぞれ選任 【会長挨拶要旨】 ・この計画を策定する際、この審議会の委員が多く関わってきたが、引き続きこの計画の目的達成のため、ご協力をお願いしたい。 【副会長挨拶要旨】 ・今まで競技者側の立場であったが、計画については初めて携わる。今後については、勉強してお役に立ちたいと思うので宜しくお願いしたい。
	(2) 「恵庭市運動・スポーツ推進計画」の概要について ・先ず、「恵庭市運動・スポーツ推進計画」の概要について事務局より説明をお願いします。 事務局より、計画書に基づき説明。
事務局	・計画書1ページに、恵庭市では平成23年に「恵庭市スポーツ振興基本計画」を策定し、生涯スポーツ社会の実現を目指し取り組んできました。しかし平成26年11月に「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」の制定、それと「夢と健康を育むスポーツ都市宣言」の決議が成され、これらを踏まえ、スポーツを通じた健康で活力あるまちづくりに取り組む必要があることから、平成28年3月にこの計画が策定してきたところ。

	本計画は、国の「スポーツ基本計画」の中で、「地方スポーツ推進計画」の策定が示されていることから「恵庭市運動・スポーツ推進計画」とし、平成28年度から始まる市の最上位計画である「第5期恵庭市総合計画」の整合性を図るとともに、これまでの振興基本計画に健康寿命の延伸に向けた取り組みなどを融合し、さらに市の関係部署の計画との整合性を図りながら、条例及び宣言を踏まえた「スポーツによるまちづくり」に向けた基本理念、基本的な考え方とそれらを実現するための施策などを計画としている。 ・7ページの計画に視点になるが、これまでの「スポーツ」という言葉から、今回は「運動やスポーツ」という幅の広い表現を使っているところが特徴となっている。更には、運動やスポーツを「する」だけではなく、「観る」「応援する」「支える」、そうした多様な活動を通じて、活力に満ちた恵庭のまちづくりを目指すものとしている。 ・8ページでは、先程申し上げたとおり計画の位置づけについては、他の計画との整合性を図りながら、推進することとしている。 ・9ページの、計画の期間については平成28年度から37年度の10年間。そして、中間年となる平成32年度に見直しとなっている。今年、この計画の最初の年となっている。 ・10ページでは、本計画の基本理念については「夢と健康を育むまち 健康・スポーツコミュニティ えにわ」となっており、基本方針については、1点目については、「運動やスポーツを通じた健康の保持増進」、2点目に「運動やスポーツ活動を支える環境づくり」、3点目に「運動やスポーツを楽しむ環境づくり」、この3つの基本方針をもって施策の推進を図ることとしている。 ・23ページでは、基本理念や基本方針に基づき、それぞれ大項目、中項目、小項目に分類し、各種施策を示している。記載の施策については、項目の細かな施策を計画しているところ。この計画に基づき、今後の恵庭市の運動・スポーツを推進していくことになっているのが、この計画の要旨となっている。
会 長	・この計画の策定時に、携わった委員も多いが、意見や質問がありますか。 ※意見・質問なし
会 長	（３）計画に基づく事業の評価・検証について ・計画に基づく事業の評価、検証について事務局より説明願います。
事務局	事務局より計画書及び資料2に基づき説明 ・計画書の24ページに第4章の計画の推進・進行管理の中で、審議会における委員の役割として、これからは施策64項目に沿って事業を展開していくが、その進行管理について説明します。 ・64項目の施策に亘り、各委員には事業の進行管理として検証や評価をしていただくことになり、その他に、市長からスポーツ振興に対する諮問や調査事項等を、審議・答

	申するという役割もあります。また、諮問・審議については、都度に案件があった場合となるので、今回は、各年度の評価をどのように行っていたかかを説明します。 ・64 項目の施策については、見直しとなる中間年、平成 32 年までの間はこの計画に基づき推進して参りたいと考えている。 ・評価・検証方法については、「スポーツ」のみならず「健康」などを含めた市の全庁的な取り組みが求められる計画となっているので、統一的な評価ができるよう、評価シートを事務局で、年度終了後に関係部署や関係機関、体育協会などとも連携した上で作成し、その評価シートに基づき、この審議会で評価・検証いただくような仕組みとしていきたいと考えており、その点についてご了解いただきたい。 ・年度終了後、審議会へ評価シートを提出するための作業等を、今後準備を進め、次年度、検証や確認等を行っていただく流れで考えており、その後は議会への報告を経て予算へと反映していくというサイクルで考えている。
会 長 事務局	以下、各委員からの質疑、意見交換など ・評価シートについては、年度末までに作成するということか。 ・事務局の方で作成する。 ・今年については、委員の公募等の関係もあり11月となったが、次年度からは、4月末から5月の初め頃に1回、それから、評価・検証の結果に基づき予算措置を行うため、9月に1回審議会を開催することとし、市長より特別な諮問が無い限り、年2回のペースで審議会を開催していきたい。今年は、計画の初年度であることから、年度末まで事業を行って、それを評価シートにまとめ、5月の審議会へ提出する作業を進めたい。
会 長 事務局	・64項目の施策にあっては、数値的に表せて評価できる項目と数値で表せない項目があり、その部分が難しい部分になる。 ・その他に、この計画には成果指標を設定しているが、その部分とのからみをどうしていくのか。 ・各項目にも成果指標を示していかなければならないと思っているが、その部分についてはもう少し検討を要するので、お時間をいただきたい。
会 長	・計画の策定検討委員会の中では、全項目については数値のつかみようが無いので、アンケート等で数値のつかめるのはということで、6つの成果指標としたので、64項目の指標というのは、なかなか難しい部分があると思う。
C 委員	・評価シートというのは、この 64 項目に亘る具体的なスケジュールがあって、それに対しての進捗の評価となるのか又は効果に対する評価という考え方なのか。
事務局	・それぞれの項目で、それぞれの評価の仕方があり、その部分を含めてこれから評価シートの作成にあたっていきたい。どのような方法が良いのか、初めての年度であるので整理させて頂き、次の審議会までにお示ししたい。

会 長	・もう一度内容を熟知いただき、評価シートが出来上がった段階で再度審議会を開催し、委員の皆様へ審議をいただき、どのような評価をしていくかという形にもっていかなければならない。
事務局	・基本的には、事業ごとに目的・課題をもって、その進捗がみられるような評価シートにしていきたいと考えている。
会 長	・できれば、数値的なもので表すことができれば、一番わかり易いと思う。
事務局	・次年度予算の議会議決等も3月 25 日頃になることから、その後でなければ予算を示すことができないため審議会を3月中の開催は難しい部分があるが、4月以降に開催の準備が出来れば開催を進めたい。 ・評価シートについては、事務局の方で内容については一任いただいて、纏まり次第、審議会に報告させて頂きたい。 ・評価シートの内容については、他の計画等を参考にしながら作成したい。
会 長	・評価シートについては、事務局において作成することとしてよろしいか。 (各委員了承)
会 長	・事務局の方で、評価シートの案を作成していただき、それに基づき審議をいただくことで準備を取り進めてもらいたい。
事務局	(4) その他 ・「えにわ健康チャレンジスタンプラリー」について報告を致します。今年の 8 月から 10 月の間、開催した「歩くことを通したまちづくり事業」については、歩くことを通したまちづくりを考える会が策定した提言書に基づき、1点目は、歩くイベントの実施、2点目はまちなか休憩所の設置、3点目はえにわ健康チャレンジスタンプラリーの実施、という3つの事業を実施した。この事業パンフレットの中にも記載のとおり、歩くことに関する団体との連携等で事業を実施したところであり、参加状況については、事業の総参加者数については、延べ2,226名となっている。また、まちなか休憩所の利用者については、1, 224名の利用があったところです。この事業は、今後も関係する団体などとも、事業を検証した上で更に市民が興味をもって参加できるよう、仕組みづくりに努めて参りたい。 3. 閉会